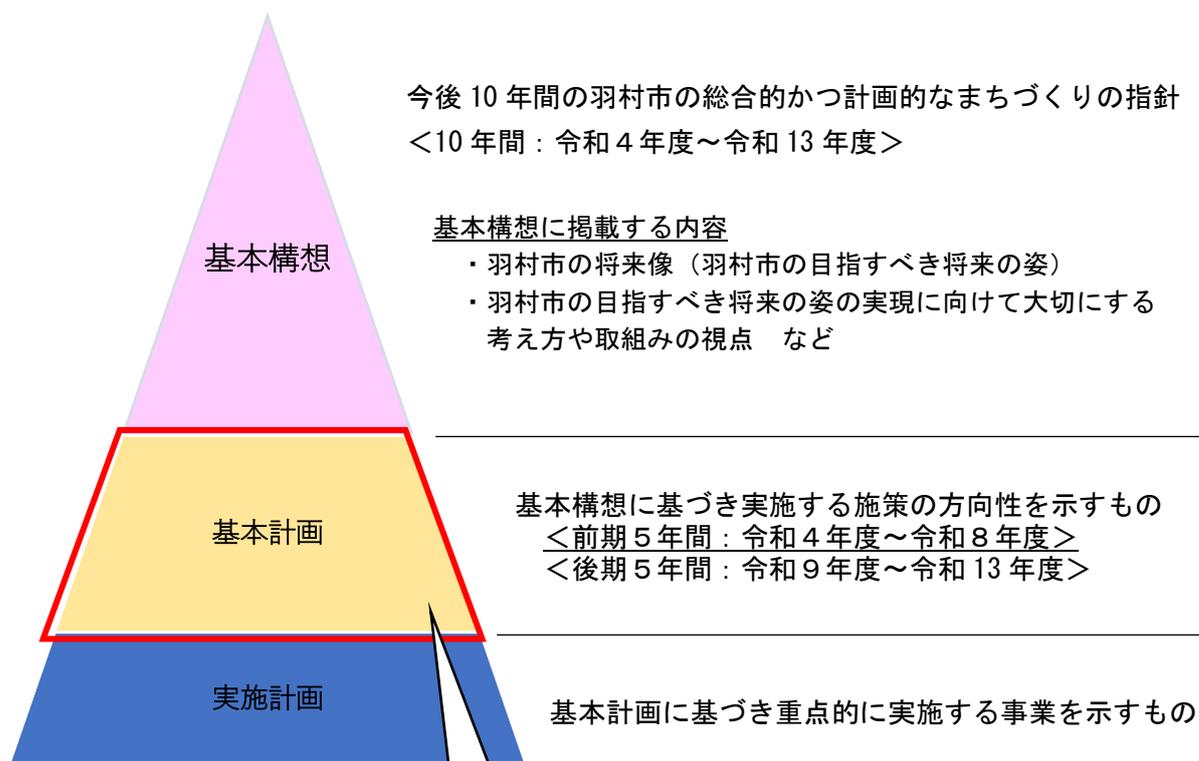


第六次羽村市長期総合計画の施策の体系について

第六次羽村市長期総合計画では、基本構想において、「羽村市の将来像（羽村市の目指すべき将来の姿）」を示すこととしており、その将来像を実現するために、基本計画において、施策（取組み）の方向性を示していきます。

1. 第六次羽村市長期総合計画の全体の体系



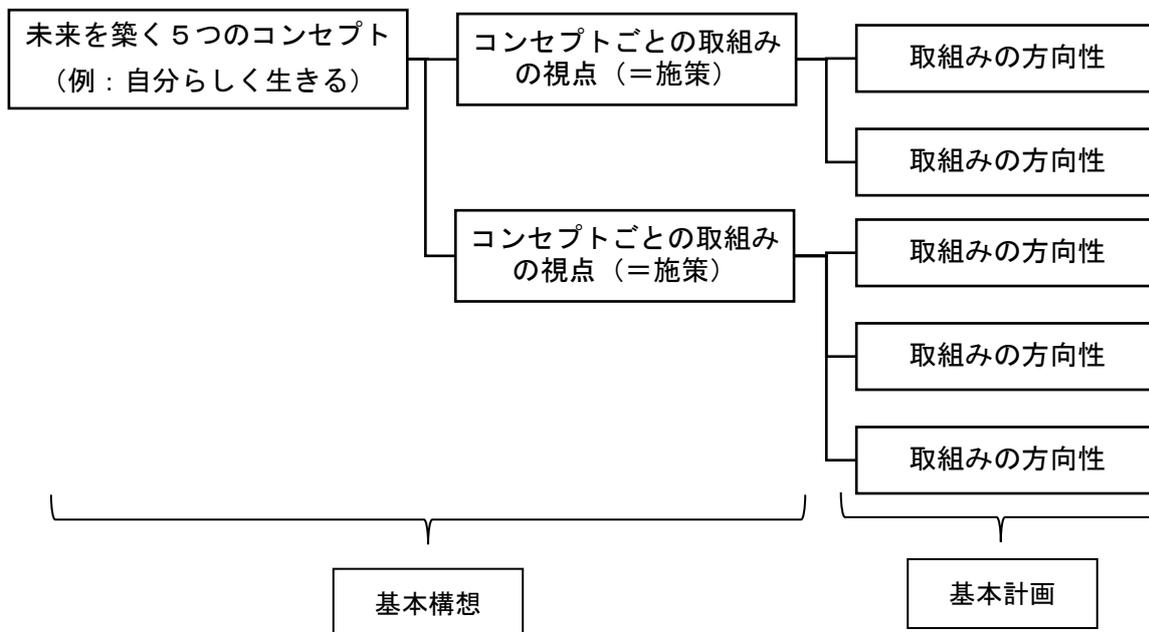
第8回長期総合計画審議会から、審議をいただく部分です。

基本構想では、「私たちのまち“はむら”の将来像」の実現に向け、5つのコンセプトを掲げ、コンセプトごとの取組みの視点を記載しています。そのコンセプトごとの取組みの視点に基づき、市として、どのような取組みを進めていくのか、その取組みの方向性を記載するものが、基本計画です。

（裏面へ）

2. 施策の体系

第六次羽村市長期総合計画の施策の体系は、基本構想で定める「未来を築くコンセプト」と「コンセプトごとの取組みの視点（＝施策）」、基本計画で定める「取組みの方向性」で構成しています。



<参考（羽村市基本構想から抜粋）>

にぎわいを創る

市内経済活動の基盤強化や市内産業の活性化を図るため、訪れる人との交流の輪を広げることで、にぎわいを創ることを目指します。

未来を築く5つのコンセプトの部分

羽村市の経済活動をリードしてきた西東京工業団地の造成から50年が経過し、工場設備の老朽化や、企業の海外進出、輸送網の延伸などの社会の変化により、羽村市の産業を取り巻く環境は、変化の時期を迎えています。

市内の産業が元気で、人の交流が盛んであることは、まち全体に活気やにぎわいを与えます。市内には、きらりと光る技術や開発力などを持った魅力的な企業や事業所がたくさんあります。

すべての産業が、羽村市で長く活動しながら新たな価値を創造し、羽村市が新たな産業の拠点となることができるよう、また、羽村市を訪れる多くの人が、羽村市の人々と楽しい時間を共有し、交流の輪が広がることで、羽村市に多くのにぎわいが生まれるよう、次のようなことに取り組みます。

- 先進技術産業が集まるまちを目指します。**
そのために、産業振興と都市計画の両面から、先端技術産業などを始めとする企業誘致や、新たな産業の創出を図るとともに、産業集積による先端技術などの開発拠点を形成し、地域における産業連携を促進していくことに取り組みます。
- 市内産業が元気に活動するまちを目指します。**
そのために、羽村市の経済活動を支える工業・商業・農業・観光業が、それぞれの事業者の個性を大切にしながら、相乗的に発展していけるよう、市内産業の魅力向上に取り組みます。
- 人が集まり、交流を生むまちを目指します。**
そのために、市内産業の効果的な魅力発信や、多くの人が集い、交流が生まれる駅周辺などの基盤整備を行うとともに、羽村市に関わる人との交流を生み、まちに活気やにぎわいを創ることに取

コンセプトごとの取組みの視点で、基本計画の「施策」になる部分